

補正予算を僅差で可決

未完成議案や検討不足議案が近年多くなっている

9月議会で提案のあった一般会計補正予算案は投票の結果、賛成14票・反対13票の僅差で可決された。こうした際どい可決に見られるように、議案の中には内部検討が十分されていない「粗っぽい議案」が近年特に目立つようだ。その原因として考えられるのが執行部の気の緩みであり、そのために粗雑な議案作りや、内部検討不足という状況を生み出している。今回問題となった「養殖・水産加工実証モデル事業予算」も検討不足による未完成議案である。何が問題なのか考えてみたい。

適用要綱に照らして無理がある事業実体だ

この養殖加工事業は、事業期間が5年間で市の補助金総額が2,844万円（事業費7,668万円）の大型事業である。

問題点の第一は、議案提出時点で未だに事業者実体が不明なことである。説明では10月上旬に「佐渡丸東水産」を設立とあるが、参加要請した水津・佐渡両漁協とも総会決定に至っておらず、新社長も決まらない状況だ。更に、事業が行き詰まった場合の補助金返還処理対策も未整理のままである。

第二は、この事業の根拠法令を「企業誘致条例」でなく「佐渡市水産業振興事業費補助金要綱」としたことだ。この要綱が定める事業主体は、漁協か組織された組合員、若手漁業者又はUターン漁業者に限定されている。更に事業規模も300万円に抑えた小規模事業を対象とした要綱である。この厳しい規定の中で人選を進めているが、東北丸東の代表者が就任を固持し、漁協からの人選も難しいと聞いている。このままでは、事業の動き出しが大幅に遅れる心配がある。

さらに問題なのが事業の採算性である。すでに佐渡においても過去に銀鮭の養殖が行われ失敗している。丸東水産は東北では成功しているが、水温の高い佐渡では問題があると指摘する声も多い。十分な検証が必要であった筈である。

議会提出の議案は綿密な検討がされるべき

なぜこんなに議会議決を急ぐのか。一つは10月から事業に入らないと、来年の養殖に間に合わない事情がある。そのために未整備のまま議案提出されたものと勘ぐられている。

さらに問題をこじらせたのが、議会に諮る前にマスコミに流れたことである。これは佐渡汽船の新造船建設事業のときと同様で、長老議員には「議会軽視」と映ったようである。

また、市長が産建委員会に「あやまり」にきたことも問題だ。説明すべきことを「あやまる」という手法で解決するのは、議会運営からも適正とはいえず、古い議会対策である。

今回の補正予算案には、第3次の佐渡市経済対策も含まれ多くの議員はこの養殖事業に問題があっても、補正予算を丸ごと潰すわけにはいかないと考えている。そのことが市長と議会の「もたれ合い」状況を作り出してはいるのだが。

養殖・水産加工モデル事業費一覧表

1, 総事業費 76,678千円		単位：千円	
海面養殖事業	陸上養殖事業	種苗生産事業	水産加工事業
29,090	32,625	14,963	商工分野で
2, 年次別事業費			
23年度	24年度	25年度	26年度
35,505	22,750	17,803	620
3, 補助金内訳 46,071千円			
県補助金	市補助金	(うち市単独)	事業者負担
17,625	28,446	(15,295)	30,607

産建委員会では、次の意見を付して4票対3票で可決した。私は副委員長として次の意見原文を作成し、賛成した。

「当事業については、事業主体が明らかでない上、補助金交付要綱に照らしても要件を満たしているとは言いがたい。また、設立が予定されている佐渡銀鮭等養殖加工推進協議会（仮称）の構成実体から見ても、今後事業を進める上での責任体制が明確でない。従って以上の要件が整うまで、事業の執行を凍結すること。」（原文のまま委員会承認される）

今後ともこの事業の成り行きを監視する必要がある。本会議では僅差で通ったが、後味の悪い補正予算だった。

議会の内・外 こぼれ話

捨て猫が我が家に居着いている。これまで動物を飼ったことは一度もないのだが、捨て猫と付き合うのは確か二度目である。

今度の猫は家の中には入らない、しかし、朝は必ず女房が外に出てくるのを待って近寄ってくる。見た目がいかにも捨て猫らしく、汚れていて・我がままで・誰にもなつかない。どうも口の中が悪いのか涎を垂らし、魚をあげても仲々うまく食べられない状態だ。唯一牛乳が飲めるので、朝だけそれを与えている。

孫が猫を見つけると、餌を与えるよう私に催促をする。その時、猫が手をかじる仕草をしながら、私に「注意しろ」と教えるのだ。

痩せて毛並みも悪く、病気を患っているようだが、この冬を乗り切れるのか心配だ。生まれ来て、捨てられて、それでも一生懸命生きようと頑張るこの猫に、どうか暖かい冬を願うばかりだ。

捨て子猫 少女去りもう あてもなし 加藤 楸邨